



平成22年4月22日

各 位

上場会社名 株式会社やまや
 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 山内 英靖
 (コード番号 9994)
 問合せ先責任者 執行役員社長室長 久野 朋美
 (TEL 022-742-3115)

業績予想の修正および特別損失計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月8日に公表した業績予想を下記の通り修正するとともに特別損失計上につきましてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|---------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 107,000 | 1,500 | 1,400 | 650 | 65.91 |
| 今回発表予想(B) | 107,700 | 1,715 | 1,800 | 650 | 65.91 |
| 増減額(B-A) | 700 | 215 | 400 | 0 | |
| 増減率(%) | 0.7 | 14.3 | 28.6 | 0.0 | |
| (ご参考)前期実績 (平成21年3月期) | 88,512 | 1,317 | 1,271 | 604 | 61.33 |

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 76,500 | 1,600 | 1,400 | 650 | 65.91 |
| 今回発表予想(B) | 76,300 | 1,690 | 1,590 | 530 | 53.74 |
| 増減額(B-A) | △200 | 90 | 190 | △120 | |
| 増減率(%) | △0.3 | 5.6 | 13.6 | △18.5 | |
| (ご参考)前期実績 (平成21年3月期) | 74,479 | 1,491 | 1,274 | 590 | 59.93 |

修正の理由

デフレの進行が続き、店頭での低価格競争が長期化しているなか、当社グループでは、既存店の活性化を図るために、やまや道玄坂店、楽市大阪空港店、スピード松戸栄町店をはじめグループ合計35店のリニューアルを実施しました。また、スピードJR茨木駅前店など2店舗をやまやレギュラー型店舗に変更し、「お客様第一主義」を基本として、品揃えの強化を進めるとともに、販売サービスの向上をはかり、お客様の消費動向や商環境の変化に対応してまいりました。

その結果、やまや既存店舗では、お客様お一人当たりのお買上単価の低下があったものの、お客様の数は109.0%と増加し、既存店舗の売上高は103.3%と堅調に推移しました。

平成20年10月に阪神地区等49店舗の酒類販売事業を承継した楽市株式会社、同じく平成21年5月1日に京阪地区等21店舗を承継したスピード株式会社は、平成22年1月1日付で合併し、存続会社である楽市株式会社はやまや関西株式会社(商号変更いたしました)に商号変更いたしました。両社の後方部門の統廃合、物流の効率化、グループ全体の標準的マーチャンディングが可能な仕組みの構築など積極的な施策を実施したことにより、客数の増加が図られ、やまや関西株式会社(消滅会社の売上を含む)の売上高は275億円と好調に推移し、同社の業績は、当初の計画を大幅に上回る見込みです。

その結果、連結業績では売上高が堅調に推移したことに加え、販管費の削減により、営業利益及び経常利益は当初予想を上回る見込みとなりました。

(特別損失計上について)

また、株式会社やまや個別業績において、特別損失として、土地評価損及び不振店舗の固定資産等の減損3億41百万円を計上しましたが、連結業績では当期純利益は当初予想のとおりの見込みであります。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上